

あなたの声を県政に、伝えよう私たちの心、夢かなうひょうごへ

ひょうご県議会だより

議会広報PRキャラクター
ひょうごはかせ
「兵議博士」

声を県政に、新しい一年へ



議場コンサートを開催 (2月17日)

2月定例県議会の開会に先立ち、兵庫芸術文化センター管弦楽団による議場コンサートが開催されました。

レジデント・コンダクターの岩村 力さん指揮の下、ベートーヴェンやモーツァルトなどの楽曲が演奏され、最後は来場の皆さんと「ふるさと」を斉唱し、心地よいひとときを過ごしました。

第374回

2月定例県議会の概要

2月17日～3月25日

※その他の概要は
4面に記載

令和7年度2月補正予算を可決 (3月4日)

国の経済対策補正などを踏まえ、重点支援地方交付金等を活用し、①事業者の経済活動の安定化に向けた取組（マガキ養殖業の継続支援など）、②県民の安全安心に向けた取組（通学路のカラー舗装更新など）を重点的に実施する一方、年間を通じた事業実績の確定や見込み等を踏まえ、総額308億円減額の補正予算を可決しました。



補正予算概要

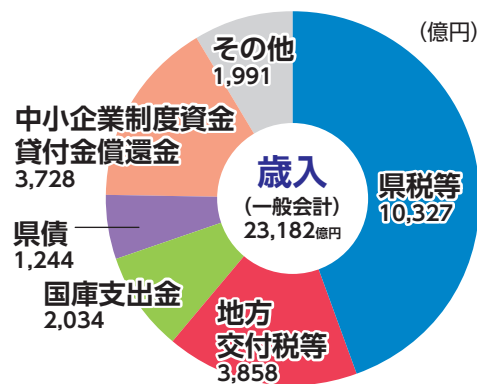
令和8年度当初予算を可決 (3月23日)

昨年、阪神・淡路大震災から30年、終戦から80年の節目を迎えたことを踏まえ、先人から受け継いだ思いを未来へつなぐとの考えのもと、「希望をつなぐ、未来をつくる」を基本姿勢に5つの柱で編成された令和8年度当初予算（総額4兆5,303億円）を可決しました。

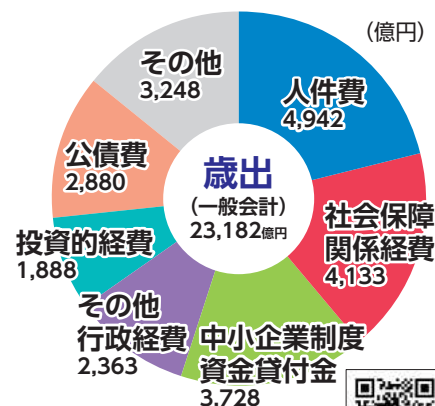
躍動する兵庫 希望をつなぐ、未来をつくる ～令和8年度予算編成の重点～

- ①若者の可能性を拓く
- ②安全安心な暮らしを守る
- ③地域活力を底上げする
- ④自然との共生を深化する
- ⑤県政基盤を強化する

令和8年度 当初予算
総額 4兆5,303億円
(対前年比100.3%)



一般会計 2兆3,182億円
特別会計 1兆8,359億円
公営企業会計 3,762億円



兵庫県 令和8年度当初予算

検索



当初予算概要

第374回2月定例県議会の質問の一部をご紹介します

※代表質問・一般質問の模様は、各QRコードからつながるインターネット録画配信でご覧いただけます。

代表質問 (2月24日)

今後の財政運営と
投資的経費のあり方



自由民主党
谷口 俊介
たにぐち しゅんすけ
神戸市西区



Q 本県は起債許可団体に移行するが、金利上昇の中での財政運営、特に投資的経費のあり方について、また財政フレームの金利見通しが甘くないか伺う。

A 【答弁者：知事】 今後も収支不足が拡大し、実質公債費比率は高水準で推移の見込みであり、投資的経費も含めた歳出の見直しが大事である。このため有識者検討会を設置し、投資事業を含む今後の財政運営のあり方を検討する。金利のみを県独自の判断で高く設定することは合理性を欠くため、手堅く現実的なケースを採用している。

県政運営における
対話と協働



維新の会
佐藤 良憲
さとう よしのり
伊丹市



Q 今こそ知事の改革への志と82名の議員の知見と経験を結集し、恩讐を越えて一つとなり、知事と議会が真の協働を実現すべきと考えるがいかがか。

A 【答弁者：知事】 「躍動する兵庫」の実現に向け、県民の代表である県議会との健全な緊張関係を維持しつつ、政策についてより一層丁寧で十分な議論を前向きに重ねていくことが重要である。今後もあらゆる機会を通じて、互いの考えを丁寧に伝え合い、対話と議論を重ねながら、県政の着実な推進に取り組んでいく。

一般質問 (2月25日～27日・3月2日)



自由民主党
伊藤 栄介
いとう えいすけ
神戸市中央区

Q JR元町駅周辺の再開発に係る取組と関係団体との連携について。

A 【答弁者：総務部長】 バリアフリー化や元町駅北側地域への動線の円滑化を図るため、まずは県庁敷地の賑わいづくりの方策を示し、県・市・JRで協議を行う。地元団体との議論や意見も酌み取りながら具体化を図っていく。



ひょうご県民連合
前田 ともき
まえだ
神戸市東灘区

Q 資金調達・運用を素人で運用するリスクを当局はどのように考えているのか。

A 【答弁者：財務部長】 投資家の需要を把握して毎年の必要額を調達し、運用面では、ゼロ金利政策の解除等により、本格的な運用にシフトしており、専門人材の活用も引き続き検討している。今後も市場環境を踏まえながら、適切な資金調達・運用に取り組む。



維新の会
中村 大輔
なかむら だいすけ
神戸市北区

Q 産後ケア・乳幼児を抱える子育て家庭への支援について。

A 【答弁者：知事】 県は、子育て世帯訪問支援事業で支援員による傾聴や家事・育児支援を実施。令和8年度から「こども誰でも通園制度」に財政支援と人材養成を行い、助産所等の分娩施設、産後ケア施設の設備更新も支援していく。



自由民主党
水田 裕一郎
みずた ゆういちろう
姫路市

Q 自転車への青切符適用にかかる高校生への交通安全教育について。

A 【答弁者：教育長】 自転車事故による高校生の年代の死者数は高齢者に次いで多く、交通安全教育の徹底は不可欠。全県立高校で、警察等と連携した取組や講習会、生徒会による啓発活動など交通安全教育をさらに推進する。



維新の会
別府 けんいち
べつぷ
尼崎市

Q 指定薬物「エトミデート」の危険性の認識と今後の対応について。

A 【答弁者：知事】 新たな乱用薬物が次々と出現するため、関係機関と連携して早期に情報を収集し、県HPへの掲載や、若年層に直接届くようSNSを活用した情報発信等を行い、違法薬物等の乱用の危険性を啓発していく。



自由民主党
北口 寛人
きたぐち ひろと
明石市

Q 地域・産業と連携した県立高校の特色ある学びの推進について。

A 【答弁者：教育長】 学びを地域課題の解決につなげる「県立高校ふるさと共創プロジェクト」を令和7年度から全県立高校において展開中。引き続き、文部科学省が示すブランドデザインも踏まえながら特色化を進めていきたい。



公明党
天野 文夫
あまの ふみお
姫路市

Q 学校問題サポートチームの活動成果とさらなる取組推進策の強化。

A 【答弁者：教育長】 多職種で学校問題に多角的支援を行い、研修や実践発表で専門性を高め、支援充実に努めている。事例集を作成中であり、同種事案への対応や研修資料として活用し、関係機関とも連携し課題解決を図っていく。



自由民主党
戸井田 ゆうすけ
といだ
姫路市

Q 啓発動画等を活用した特殊詐欺対策の取組状況と今後の方向性について。

A 【答弁者：警察本部長】 本年2月を二七警察詐欺に関する広報啓発強化月間として、動画配信サービス視聴中に15秒の啓発動画が再生されるターゲット広告等を実施。引き続き、関係機関と連携した対策強化に取り組んでいく。



公明党
菅 雄史
すが たけし
神戸市兵庫区

Q 視認性を含めた道路案内標識の効率的・効果的な維持管理について。

A 【答弁者：土木部長】 限られた予算で、削減可能な交差点名標識を撤去するなど適正配置や点検・修繕に対応している。国の取組や民間の技術開発の動向に注視しつつ、様々な工夫を重ね、適切な維持管理に取り組んでいく。



自由民主党
富山 恵二
とみやま けいじ
相生市

Q 職員の定年前退職の動向と要因分析及び離職防止対策について。

A 【答弁者：総務部長】 59歳以下の自己都合退職者は、令和2年度56名から令和6年度103名に増加。主因は転職や家庭事情。庁内公募やエンゲージメント調査、テレワーク等により働きやすい職場づくりを進め、離職防止と人材定着を図る。



躍動の会
岸口 みのる
きしかわ
明石市

Q 財政健全化に向け、事業ごとに宿泊税等の自主財源を確保すべき。

A 【答弁者：知事】 観光目的税は事業者等と研究を進めたい。事業ごとの財源確保は重要で、クラウド・ファンディング型の寄附募集も検討するなど、持続可能な行財政運営に向け、自主財源のさらなる確保に取り組む。



維新の会
鰐木 良子
つばき りょう
加古川市

Q 県立高校入学者選抜における学区制度の総合検証が必要ではないか。

A 【答弁者：教育長】 現行計画では5学区を維持する方針だが、国のブランドデザインに基づく高校教育改革実行計画の策定と取組を推進し、次期実施計画を見据えながら、入学者選抜の改善と検証を行っていく。

安全便利の両立で
県民サービスのDX化



公明党
越田 浩矢
神戸市長田区

Q はばタンPay+プラスの情報漏洩を教訓に、マイナンバーカードを活用した認証基盤整備で安全性を強化し、多彩で便利な行政サービス提供アプリを整備すべき。

A 【答弁者：知事】

システム調達では全庁で同一水準のセキュリティを確保するため、チェック体制を強化した。既存のはばタンPay+については市町との共同利用等を見据え機能拡充を検討する。一方、共通基盤となるスーパーアプリの整備は利点がある半面、整備・運営コストの課題もあるため、費用対効果を見極めつつ引き続き検討していく。

現在の財政状況を
踏まえた事業執行



ひょうご県民連合
上野 英一
神戸郡

Q 金利上昇局面に対応した財政運営への転換が求められる中、現在の見通しよりも悪化することも考えられるが、このような状況で予算計上事業の執行は可能であるのか。

A 【答弁者：知事】

厳しい財政環境の中、投資事業の基本額の実負担額が前年度を上回らない範囲で事業費を設定し、将来の公債費負担の軽減に努めた。一方で、事務事業の見直しにあたっては、県民生活に与える影響にも配慮する必要がある。来年度、有識者で構成する検討会において、本県の財政構造を検証した上で、更なる事業の見直しなど歳出改革を進める。

一般質問は、
質問日毎に
右のQRコードから
視聴できます。



岸本 かずなお
公明党
加古川市

Q WMGの地域への波及効果をどのような取組で最大化するのか。

A 【答弁者：知事】

エントリースシステムを活用し、観光情報や周遊プランを参加者へ直接発信する。大会期間中は競技会場で地域の魅力発信ブース出展を企画しつつ、花火大会等を計画する市町と連携し相乗効果を高める。



藤本 百男
自由民主党
加東市

Q 北はりま特別支援学校で教室等の不足が進む中、分校設置の経緯と計画は。

A 【答弁者：教育長】

三草小学校跡施設を活用し、令和8年度から改修設計に着手し、加東市や地域との協力関係を深めながら、開校に向けた整備を推進していく。今後も県立特別支援学校の教育環境の充実を図っていく。



なかい 隆晃
維新の会
神戸市長田区

Q 私立高校への新たな支援事業と教育データ公開の必要性について。

A 【答弁者：知事】

各校の特色教育の磨き上げ支援や、奨学金返済支援制度の対象拡充、入学金の一部支援を行う。教育データについては、国から示される具体的な内容を踏まえ、各学校と連携し適切に対応していく。



高橋 みつひろ
維新の会
神戸市西区

Q 防災庁の地方機関の兵庫県への誘致活動をどのように進めるのか伺う。

A 【答弁者：知事】

本県は阪神・淡路大震災からの創造的復興を通じた知見・ノウハウを有することなどから防災庁の地方機関の設置に適すると認識している。関西広域連合や経済団体などとも連携しながら誘致に向けて取り組む。



庄本 えつこ
日本共産党
尼崎市

Q 告発文書を3号通報とし、法律違反を明らかにして通報者救済を。

A 【答弁者：知事】

同文書は誹謗中傷性が高く、初動から懲戒処分実施に至る一連の対応は適切だった。公益通報者保護制度における通報者保護の重要性は認識しており、今回の法改正等も踏まえ今後も適切に対応する。



村岡 真夕子
自由民主党
三木市

Q 公債費負担適正化計画と県政改革方針の議会関与の整合性について。

A 【答弁者：財務部長】

計画策定にあたっては、総務省との協議調整を通じて一定の水準が厳しく求められる可能性があるものの、議会や県民に対して説明責任を果たすことは重要であり、議会とも相談しながら進めていく。



小林 昌彦
無所属
小野市

Q 東播磨道を活用した北播磨地域活性化と若者に魅力ある雇用創出を。

A 【答弁者：産業労働部長】

北播磨地域は交通の要衝かつ災害リスクも低く雇用の場を創出するポテンシャルが高い地域。国と連携し、地域産業クラスターの形成を図りつつ企業立地と雇用創出を進め、地域活性化に結び付けていく。



石川 憲幸
自由民主党
丹波市

Q 兵庫県のあるべき姿とは、多様性を活かした自己完結型の県では。

A 【答弁者：知事】

県民の皆様と共に、人、地域が個性を活かしながらその可能性を十分に発揮できる兵庫、これまで培ってきた多様性を最大限活かし、地域間の連携を強化し、新たな価値を創り続ける兵庫を実現したい。

次回の定例県議会は
6月に開催予定です。

用語解説

- ※1 実質公債費比率 公債費による財政負担の度合いを判断する指標として、起債に国と協議を要する団体と、許可を要する団体の判定に用いられるもの。18%以上となれば、起債に当たり許可が必要となる。
- ※2 こども誰でも通園制度 0歳6ヶ月～満3歳未満で保育所等に通っていないこどもを対象に、保護者の就労有無を問わず月最大10時間まで保育施設等の利用機会を提供する新たな通園制度。
- ※3 学校問題サポートチーム 複雑化する学校課題(生徒指導、教員の指導力向上、特別な支援を要する児童生徒への対応等)に対し、様々な専門性を有する構成員(教職員OB、警察OB、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、弁護士、精神科医 等)が効果的・機動的に総合的な支援を行うチーム。
- ※4 WMG ワールドマスタースゲームズ2027関西の略。概ね30歳以上であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際競技大会。次回2027年5月、日本で初めて関西各地を舞台として開催され、現在エントリー受付中(2027年2月28日まで)。
- ※5 地域産業クラスター 知事等主導で形成されるクラスターであって、力を入れる産業分野や重点支援企業を特定し、施策を戦略的に活用しながらその形成・拡大を目指すもの。

予算特別委員会について

令和8年度当初予算案などを審査するため、3月2日に予算特別委員会を設置し、13日間にわたり専門的に詳しく審査しました。その結果、計23件について原案どおり可決すべきものと決しました。



予算特別委員会の詳細はこちら▶

委員長	谷口 俊介	自由民主党
副委員長	斉藤 なおひろ	維新の会
委員	久保田 けんじ	日本共産党
	橋本 成年	ひょうご県民連合
	中田 英一	ひょうご県民連合
	大塚 公彦	公明党
	松尾 智美	公明党
	麻田 寿美	公明党
	さかた たかのり	維新の会
	青山 暁	維新の会
	北口 寛人	自由民主党

委員	水田 裕一郎	自由民主党
	大前 はるよ	自由民主党
	北野 実	自由民主党
	丸尾 まき	無所属
	脇田 のりかず	維新の会
	谷井 いさお	公明党
	伊藤 栄介	自由民主党
	松本 隆弘	自由民主党
	藤田 孝夫	自由民主党
	北川 泰寿	自由民主党



第374回

2月定例会県議会の概要

2月17日～3月25日

今回の議会で定められたこと

● 条例、予算及びその他議決案件

議員提出議案（可決 計4件）

◆ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆ 県議会の権限に属する事項中知事の専決処分事項指定の件 など

知事提出議案（撤回の承認 1件）

◆ 知事及び副知事の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例（第146号議案）

（可決・承認・同意 計111件）

◆ 令和8年度兵庫県一般会計予算

◆ 令和7年度兵庫県一般会計補正予算

◆ 兵庫県県政改革方針の変更 ◆ 副知事の選任の同意 など

● 決議（可決 1 件）

◆ 北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための広報啓発を推進する決議

● 意見書（可決 計 6 件）

◆ クビアカツヤカミキリ等の特定外来生物に対する防除対策の強化を求める意見書

◆ 道路等社会インフラの老朽化対策の更なる拡充・強化を求める意見書

◆ 令和8年度臨時応急的な障害福祉サービス等報酬の見直しに関する意見書

◆ 播磨灘における養殖マガキの大量へい死対策の強化を求める意見書

◆ 高病原性鳥インフルエンザの対策強化を求める意見書

◆ 地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書

県議会 ニュース

県政改革方針の変更について(3月23日)

本県では、県の事業や県庁組織の見直し、民間活力の導入などを通じて県政全般の改革を推進するため、令和10年度までを期間とする県政改革方針を定め、取組を進めています。今後の本格的な金利上昇局面に対応した財政運営への転換が求められる一方、兵庫の持続的な発展には今後も未来への投資が不可欠であるため、財政健全化と必要な投資の両立を図り、さらなる財政改革を推進するための方針変更案が本定例会県議会に提出され、可決されました。

新議会棟整備協議会の設置

昨年12月策定の新庁舎等整備プロジェクト基本構想を踏まえて検討される「基本計画」の策定にあたり、議会として議場の規模や傍聴機能の充実策などの調査・検討を行うため、3月23日に「新議会棟整備協議会」を設置し、翌24日に第1回協議会を開催しました。

特例選挙区の取扱いについて

昨年6月に設置された議員定数等調査特別委員会において、特例選挙区※である相生市選挙区の合区先を協議してまいりましたが、このたび、隣接選挙区も含め地図のとおりとすることで合意しました。

また、委員会では、今後公表される令和7年国勢調査の速報値をもとに、議員の総定数等についても協議し、相生市選挙区の取扱い等とともに、令和9年4月実施の兵庫県議会議員選挙に向けて令和8年9月定例会中に県議の定数及び選挙区条例の改正を行います。

※特例選挙区：選挙区ごとの人口を議員一人当たりの人口で割った「配当基数」が0.5未満の場合、隣接する選挙区と合区しなければならないが、地理的状況等の理由から、特例で設置が認められた選挙区。

現在の選挙区

宍粟市(定数1)

赤穂市・上郡町・佐用町(定数1)

相生市(定数1)

合意した選挙区

宍粟市・佐用町(定数1)

相生市・上郡町(定数1)

赤穂市(定数1)

県政改革方針の詳細はこちら

高校生記者大募集！

—「ひょうご県議会だより 高校生WEB版」で発信しよう—

兵庫県議会では、若い世代に県議会をもっと身近に感じてもらうため、県議会ホームページ内に「ひょうご県議会だより 高校生WEB版」を開設し、現在、高校生記者が制作した15の個性豊かなコンテンツを掲載しています。

高校生記者って何をするの？

● 県議会や県議会議員への取材

● 取材した内容をもとに記事・動画・漫画などのコンテンツを制作

● ウェブで発信！

「ひょうご県議会だより高校生WEB版」はこちら▲

募集概要 対 象

兵庫県内の高校生（県内に在住又は県内の高校に在籍の方）

議会事務局との連絡調整を確実にし、取材やコンテンツ制作等に意欲的に取り組める方

※県議会の知識の有無は問いません。

※議会等への取材に要する交通費は支給します。

応募方法

右のQRコードから応募ページをご確認ください。

締 切

令和8年6月2日（火）

募集の詳細はこちら